



## 《学校教育目標》『感動のある文洋中学校』

5月11日(土)の授業公開やPTA総会・学年懇談・部活動懇談には、ご多用中にも関わらず多くの保護者の皆様にお越しいただき、大変ありがとうございました。これから保護者の皆様といっそう連携しながら、活気ある学校づくりに励みたいと思っています。

今回は、PTA総会の場で保護者の皆様にお話しした私の話を掲載させていただきます。学校づくりへの思いや御協力をお願いしたいことなどを、以下のようにお話しさせていただきました。主旨をまとめたものです。どうぞお読み下さい。

(まずは、御挨拶をさせていただき、その後学校運営等についてお話ししました。)

### 【学校教育目標とその達成へ向けた活動について】

本年度の学校教育目標は、昨年度を継続し、『感動のある文洋中学校』です。この短い表現で、教職員はもちろん、保護者にも生徒一人ひとりにも覚えてもらいやすい目標になっています。

人生の色々な場面で体験する「感動」は、夢や希望が生まれるきっかけとなります。子どもの頃の体験を通じ夢や希望が育まれれば、目標をもって力強く人生を生き抜くための原点となります。さらに、目標が決まれば、達成へ向けての具体的な活動も始まります。私は、そのように自分の人生を主体的に歩む生徒を育むために、その原点を中学時代に見つけさせたいと思っています。

ところで、「感動はわかるけど、勉強は？」と思われた方もおられるかもしれません。言うまでもなく、中学校教育は、日々の授業や学習への働きかけを通じ、基本的な学力を身につけさせ、それをさらに伸ばしていくことを目指します。学力の定着・向上には、今年も力を入れて取り組みたいと考えています。

その上で、本校の『感動と共に学ぶ』とは、例えば、地域での職業体験・ボランティア体験・課題の探究学習など「机の上ではできない勉強」にもしっかりと取り組ませて、人として大きく成長してほしいという願いを込めています。地域に支えられて体験を積み重ねていくことで、子どもたちはたくましく成長します。実践を積み重ねていくことで、変化の激しいこの現代社会を「たくましく生き抜く」力を育てたいと思っています。

また、令和元年度の生徒会年間活動目標は、「文洋開花(花開く)～輝く自主性 咲き誇れ～」です。このスローガン実現のため、生徒達は様々な活動を自分たちの手で企画・運営しながら学校生活の向上を目指しています。私も着任して生徒会活動の場を目にし、役員生徒が「生徒会とは生徒皆一人ひとりのことだよ。」と呼びかけたり、行事の進行に紙を見ながらではなく直接参加者を見ながら話したりしていく姿勢に、まさしく感動を覚えています。生徒自らが自分たちの学校をよりよい学校へしていくのだという思いをもって活動しています。どうぞ、保護者の皆様にも、生徒会活動へのご支援をお願いいたします。



廊下の掲示



廊下の掲示

## 【お願い～①「家庭・地域との連携」】

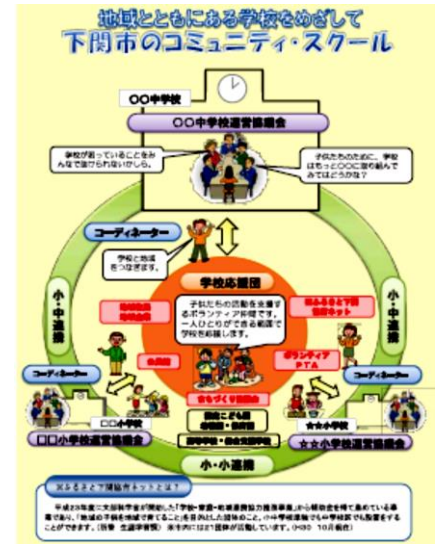
家庭・地域と学校の連携はお互いの努力と協力で大きな力を発揮すると考えています。主眼は「子供のため」、学校ができること、家庭でできることを連携しながら、子供たちの成長へ向けて、一緒にやっていきましょう。

家庭と教職員の連合体、PTA活動もよろしくお願いいたします。PTA活動は、学校全体を盛り上げ、学校に力を与えてくださるものです。私も、自分の子育てを思い出すと、保護者としてPTA活動に参加し、協力して行事を行う中で人の輪も広がり、自分地自身の幅も広がってくれたと思いでしてあります。

ところで、地域との連携です。学校には「学校運営協議会」、通称「コミュニティ・スクール」という組織があります。地域の方々も交えて学校運営を考え、必要な示唆を与えていただく仕組みです。

さらに、地域には学校を支えてくださる様々な活動団体の皆様がおられます。そういった地域の支援団体の皆さんを、「地域協育ネット」と呼んでいます。昨年度までも、今年度も、文洋中学生徒のために様々な支援活動をいただき、大変感謝しております。

保護者・地域の皆様と知恵を出し合い、一緒に子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校となりますよう願っています。



## 【お願い～②「学校でできること」「家庭でできること」】

まずは、学習についてです。学校では機会を捉えて、教科学習や家庭学習の取り組み方、学力の状況、そして指導評価に関する連絡などをさせていただいています。家庭と共有しながら指導を進めてまいりたいと思います。そして、日々の授業では、「文洋型教科センター方式」で教科毎に専用の教室で学んだり、教員も学年の枠を越えて教科指導を行ったりしています。全教員で全生徒を指導していく体制を取っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、「家庭学習の充実」のお願いがあります。学校でも、「今日家に帰ってする勉強はこれとこれ」といったことを生活ノートに書かせて帰らせています。小学校とも連動して、家庭学習は「学年×10分+10分」(中一では、小学校から数えて7年生として70分+10分の計80分)を確立したいと思います。

そのためには、家に帰って、ご飯を食べて、お風呂に入って、テレビやゲームの時間を区切ったその先に「家庭学習〇〇時間」が生まれます。「基本的な生活習慣」を重視して、家庭でもご指導をお願いします。

また、その際、スマホに起因するトラブルのないよう家庭でも約束事の確立やSNSの適切な運用について、会わせて御指導をお願いいたします。

最後に、読書活動の推進です。子どもたちの活字離れが言われています。本校でも朝の読書の取組、図書室の充実など推進活動を進めています。本や新聞を読むことを、学校と同じスタンスで子供達と一緒に進めていただきたいと思っています。

## 【お願い～③「望ましい部活動のあり方」】

本校部活動へ、平素から多大なご支援をいただき、ありがとうございます。今週にも資料をお届けしたように、改めて、適切な部活動運営についてのご協力をお願いします。

生徒のバランスのとれた生活と成長を促すため、県・市教委からもご指導をいただき、部活動の休養日の確実な設定について全市的に取り組んでおります。

本校においても、

- ・休養日週あたり2日以上(平日1日、土日のどちらか1日)を設定する。
- ・活動時間は、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とする。

(大会等の都合でこのように設定できない場合、休養日を他の日に振り返ることで対応)

また、今後、各部の「活動方針」や「活動予定」を作成していく予定です。

これらの点について、今後10月を目途に固めていくつもりです。どうぞ保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

(新旧PTA会長様はじめ役員の皆様へのお礼を述べて、お話を終えました。)